

No.	15-6-2	場所	高森町下市田河原 飯田市座光寺境	次世代への継承キーワード	災害現象理解	
名称	南大島川の氾濫で水没した下市田河原の水田			河川	南大島川	
災害現象	洪水氾濫			支流		
補足事項						

概要

高森町吉田地区では、大島川から押し出された土砂が出砂原集落を埋めた。巨岩を積み上げた長さ約 500mにわたる惣兵衛堤防は、200 年以上もこの地域を守ってきたが、竜の背のごとく盛り上がった天竜川は堤防を乗り越え、地上部のほとんどが押し流された。田沢川は鉄砲水により下流一帯が一面河原となり、11 名の犠牲者を出した。

●体験談：災害当時、高森南小学校 4 年生（高森町の座光寺側に居住）  
 翌<6 月>二八日の未明、私たちは、地響きのような不気味な地鳴りに、目を覚ました。父は、すぐさま薄明かりの外へ飛び出して行った。（中略）  
 <南大島川の鉄砲水の>第一弾の過ぎ行く様だった。川が、ふちよりも盛り上かって巨大化し、煙のような飛沫をあげ、岩を吹き飛ばしながら通り過ぎたのだという。走る牙のような水流が、たちまち高さを失って、一団は駆け下っていった。明るくなってから私が見たとき、川は水量が減っていたが、家は、いや、家の建っていた川べりは、崖に変わっていた。（中略）しばらくして、鉄砲水の第二弾は通り過ぎた。（中略）ゴーウォーという地響きとともに、岩や丸太を跳ね上げながら、その塊は疾走していった。（中略）鉄砲水は、幾度かに分けて下ってきたが、雨脚が弱まったこともあって、次第に大人しくなり、水も、泥の割合が少なくなっていった。  
 （松川史学会誌 15 「三六災害の思い出」 p.45）

記録



南大島川の氾濫で埋没した下市田河原座光寺境の水田地帯

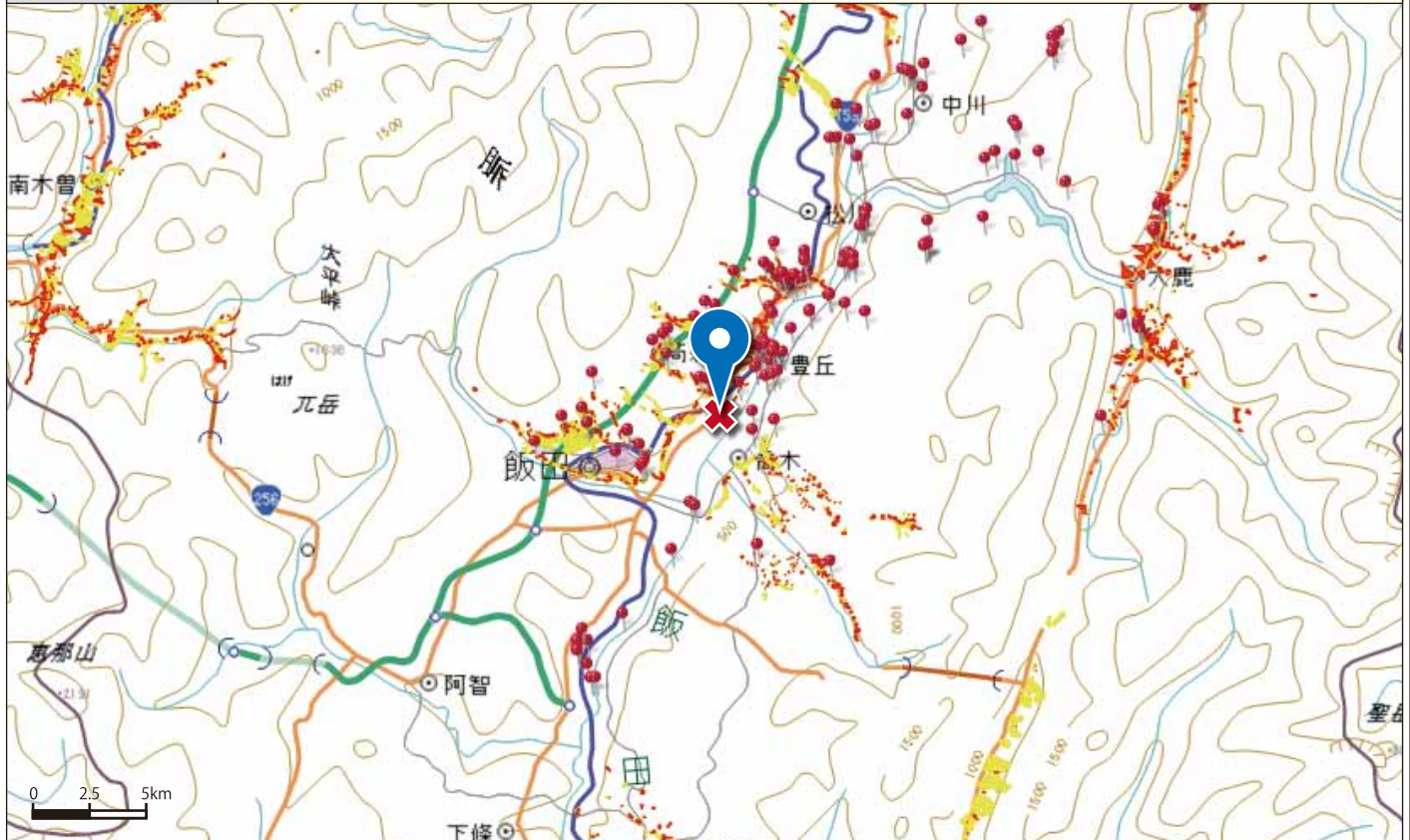
出典 「36 災害 20 周年記念 災害の記録」p.16、17/ 松川町史学会誌 15 「三六災害の思い出」p.45

備考 概要欄の< >は編者が補足説明したものです。

No.	15-6-2	場所	高森町下市田河原 飯田市座光寺境	緯度	35.532784
-----	--------	----	------------------	----	-----------

名称	南大島川の氾濫で水没した下市田河原の水田	経度	137.870438
----	----------------------	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。